

小学校 全 学年＜全一（1）＞

学 年	1 ～ 6 年	時 間	学校行事 火災発生時の避難訓練と煙体験	時 期	5 月	時 数	1 時間 (45分～60分)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災発生に対して、全児童が適切な指示に従い、敏速に統制のある行動をとり、安全に避難することができるようにする。 ・ 煙体験をすることにより、煙の怖さを知り安全に避難する方法を身につける。 						
資料・準備	煙体験ハウス（消防署等で準備）						

展開

- 1 非常ベル（火災報知設備）と校内放送による児童の避難（身近な避難経路を經由し避難場所へ避難）
 - ・ 避難経路の確認（防火扉・シャッターを閉める）
 - ・ 鼻・口の保護（煙・有毒ガス）
 - ・ 放送設備またはハンドマイクの活用
 - ・ 「お・は・し・も」の約束の徹底
- 2 避難後、児童数及び児童の様子を確認→ 全体の掌握
- 3 避難総括
 - ・ 校長、安全担当の話
- 4 煙体験と火災の特徴、安全な避難の講義（全校を下・上学年 or 低・中・高学年で入れ替え）
 - ・ 協力団体（消防署）に依頼



- 5 全体総括と今後の心得
 - ・ 消防署員の話

【工夫例】

☆地域と連携→ 地域への学校開放日の1時間に設定し、校区住民に広める。

☆保護者(P T A組織)と連携→ 参観日の1時間に設定し、親子で実施し、家庭啓発とする。

その後、3年～6年は教科学習、1、2年は短学活で事後指導を行う。

関 連 す る 教科・領域等	(学級活動) 事前の学習
協 力 団 体	東部・中部・西部各広域消防局、各地域担当消防署